

京都弁護士会における法曹人口及び法曹養成制度等に関するアンケート 集計（記述、一部除く）

回答者数：87名

		集計				
		回答1	回答2	回答3	回答4	
1 回答者に関する情報（修習期と法科大学院での履修経験等）	①修習期は何期ですか	期	-	-	-	-
	②法科大学院を卒業されていますか	1 はい 2 いいえ	35	50		
	③予備試験を受験しましたか	1 はい 2 いいえ	9	76		
	④予備試験を受験された方にお伺いしますが、受験されたのはいつですか。	1 大学在学中 2 法科大学院在学中 3 卒業後	3	7	1	
	⑤修習指導担当弁護士を経験したことはありますか。	1 ある 2 ない	34	51		
2 法曹養成制度に法科大学院が組み込まれたことに関する率直な感想を伺います。	①法科大学院制度導入後、司法修習生の質が全体として向上したと思いますか。	1 思う 2 思わない 3 分からない 4 回答困難	2	44	32	7
	②法科大学院制度に問題はありますか。	1 思う 2 思わない 3 分からない	66	6	11	0
	③（②で「ある」と回答された方へ）問題と思われるのはどのような点ですか（複数選択可）	授業の質	29			
		実務との連携機能	29			
		学費	54			
		在学期間が長い	14			
		在学期間が短い	3			
		その他（自由にご記入ください）	18			
	④法科大学院制度は、司法改革の要として、「点から線へ」という理念のもと設立されたものですが、現行の法科大学院制度のもとで、「点から線へ」、すなわち、法律の実務家として活動していくことにつながるような教育がなされていると思いますか。	1 思う 2 思わない 3 分からない 4 その他（自由にご記入ください）	18	47	16	3
	⑤（④で「思う」と回答された方へ）どのような点から、そのように思われるのでしょうか（複数選択可）。	授業の質	12			
		最新の法理論に触れられる	7			
		同じ目的を持った仲間と出会う	10			
		実務家としてどのような能力・知見が必要なイメージが持てた	10			
		その他（自由にご記入ください）	3			
	⑥法科大学院制度の導入により、社会人が法曹になりやすくなったと思いますか。	1 思う 2 思わない 3 分からない	19	56	11	
⑦法科大学院卒業を司法試験の受験資格として維持すべきですか	1 維持すべき 2 維持すべきでない 3 分からない 4 その他（自由にご記入ください）	15	59	11	1	
⑧法科大学院在学中に、司法試験の受験を認めるべきだと思いますか。	1 思う 2 思わない 3 分からない	50	24	13		
⑨⑧でそのように回答された理由をご記入ください。						
3 司法修習の改善に関する質問です	①給費制は廃止することが相当だったでしょうか。	1 相当である 2 相当でない 3 分からない	3	73	5	
	②①でそのように回答された理由をご記入ください					
	③実務修習期間は足りていると思いますか。	1 足りている 2 足りていない 3 分からない	12	53	14	
	④③でそのように回答された理由をご記入ください。					
	⑤修習生の数はこのままで良いでしょうか。	1 増やすべきだ 2 減らすべきだ 3 このままでよい 4 分からない	3	50	10	17
	⑥修習生の数は何名程度が妥当でしょうか。	自由記載	-	-	-	-
4 法曹養成制度について	①現在の法曹養成制度について改善は必要でしょうか。	1 必要である 2 必要でない 3 分からない	72	0	8	
	②（「必要である」と回答された方へ）法曹養成制度の改善策として効果的と思うところは、以下のどの方策でしょうか。良いと思うものがあれば、その項目を選んでください。または、自由にご記入ください。	司法試験合格者数の増加	2			
		司法試験合格者数の削減	47			
		法科大学院制度の拡充	6			
		法科大学院制度の廃止	31			
		法科大学院卒業を司法試験受験資格とすることの廃止	42			
		予備試験の廃止ないし制限	7			
		司法修習制度の廃止	4			
		司法修習期間の延長	43			
		給費制の完全復活	66			
	その他（自由にご記入ください）	7				

5 法曹養成制度の現状や今後の改革について、思うところを自由にお書きください。